

京都あぐい便り



近畿農政局京都府拠点
発行: 令和7年10月28日

写真: 綾部市「オクラの花」



P1...令和6年度食料自給率を公表しました

P2...現場だより「ダムで日本酒を熟成! ~新しい地域ブランド創出を目指して~」大石酒造株式会社(亀岡市)

P3...11月29日はノウフクの日!!

P4...食に関するセミナー気になる! 食品の表示~信頼を確保するために~ / ~最近の各種統計情報の公表について~

令和6年度食料自給率を公表しました

~農林水産省は、食料自給率を毎年公表しています~

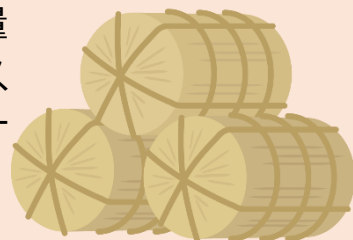
【目的】

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表しています。



【令和6年度の結果】

カロリーベースの食料自給率については、主食用米の消費量が増加したこと及び国産砂糖の生産量が増加したことがプラス要因となる一方、国産小麦等の生産量が減少したことがマイナス要因となって前年度並みの38%となりました。



一方、生産額ベースの食料自給率については、国内生産額の増加により、前年度比+3ポイントの64%となりました。

又、今年度より摂取熱量ベースの食料自給率(平時において国民の日常生活に必要な摂取熱量のどの程度が国内で賄われているかを示す指標)についても公表しており、その値は46%(1人1日当たり国内供給熱量(860kcal)/平時における国民の日常生活に必要な摂取熱量(1,850kcal))となっております。



【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/251010.html>



【お問合せ先】

農林水産省 大臣官房政策課食料安全保障室

代表: 03-3502-8111(内線3807) ダイヤルイン: 03-6744-0487

農林水産省



ダムで日本酒を熟成！～新しい地域ブランド創出を目指して～

大石酒造株式会社（亀岡市）

亀岡市にある大石酒造株式会社本社を訪問し、代表取締役の大石博司さんに日吉ダム（南丹市）の特性を活かした日本酒熟成の取組についてお話を伺いました。（取材日：2025年10月）



代表取締役 大石 博司さん



大石酒造株式会社本社

大石酒造株式会社は、元禄年間（江戸時代）創業の老舗酒造会社で、平成26年により良い酒造りの環境を探し求めて、「かやぶきの里」で知られる南丹市美山町に酒蔵を新設されました。今回の取組は新しい地域ブランド創出を目指して、大石酒造株式会社（亀岡市）が南丹市の工場で醸造した日本酒を南丹市にある日吉ダム（水資源機構桂川・猪名川ダム総合管理所）の本体内で貯蔵し熟成させるというもので、南丹市が両者の間を取り持ったことで実現しました。

日本酒の熟成に適した環境



地域に開かれたダムとして親しまれている日吉ダム



熟成中の純米吟醸酒（一升瓶240本）

ダム内部は分厚いコンクリートと大量の水に囲まれており、外気温の影響を受けにくく、年間を通して安定した低温を保つことができることから、日本酒の熟成にとって理想的な環境と言えます。保管されているのは、ダム上部の通路から約60m降りたダム本体最下部にある維持管理用通路で、年間を通して気温が15度前後の環境です。保管場所に本年7月に純米吟醸酒の一升瓶240本を運び込まれ、熟成期間は3～4か月を予定しているとのことです。

11月29日は

ノウフクの日!!

～「もっともっとノウフク2025」全国各地で農福連携イベントを開催!～

昨年6月に「農福連携等推進会議」において決定された「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」において、11月29日（November（ノウ）29（フク））を新たに「ノウフクの日」と制定し、この日を中心とした、11月1日～12月31日までの期間を「もっともっとノウフク2025」として、全国各地で農福連携に関するイベントを開催します。

【概要】

農福連携は、障害者をはじめとする多様な人たちの農林水産業での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、担い手不足や高齢化が進む農林水産分野における働き手の確保や、全ての人々が生きる力や可能性を最大限に発揮できる地域共生社会の実現に資する取組です。



農林水産省は、法務省、文部科学省、厚生労働省と連携し、「ノウフクの日記念イベント2025」や全国での関連イベントの開催等を通じて、農福連携の更なる展開や普及に取り組みます。

【「ノウフクの日記念イベント2025」の開催】

農福連携に取り組む若手農業者や、地域協議会及びユニバーサル農園の実践者等による講演とトークセッション、農福連携の現場で活躍する方の講演を会場で行います。今回のイベントでは、京都からロックファーム京都株式会社 代表取締役 村田 翔一 氏が若手農業者による講演・トークセッションに参加されます。

他に会場では農福連携製品の展示・試食も行い、ノウフクの日を盛り上げます。ぜひご参加ください!

イベント名：11月29日はノウフクの日!～聞いて、知って、食べて農福連携～(web配信あり)

日時：令和7年12月1日（月曜日）13時00分から17時00分まで

場所：ベルサール虎ノ門 東京都港区虎ノ門2-2-1住友不動産虎ノ門タワー 2F

参加申込期限：令和7年11月30日（日曜日）17時00分まで

内容：

(ア) 農福連携に取り組む若手農業者による講演・トークセッション

(イ) 地域協議会・ユニバーサル農園に関する講演・トークセッション

(ウ) 農福連携の現場で活躍する方の講演

※参加方法等の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/251020.html>



【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課

代表：03-3502-8111（内線5448）ダイヤルイン：03-3502-0033

農林水産省

近畿農政局 食に関するセミナー 気になる！食品の表示～信頼を確保するために～

近畿農政局では、消費者を対象に食に関する正確でわかりやすい情報を提供することを目的として、「食に関するセミナー（気になる！食品の表示～信頼を確保するために～）」を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

【開催日時】

令和7年11月18日（火曜日）13時30分～15時00分

【開催形式(会場及びWEB)】

(1) 会場参加

近畿農政局第1会議室（京都市上京区西洞院通下長者町下る
丁子風呂町）

(2) WEB参加

Microsoft Teamsを使用

（申込期限：令和7年11月12日（水）17時00分）

【開催内容】

講演：「食品表示の適正化と監視業務」

＜講師＞近畿農政局 消費・安全部
米穀流通・食品表示監視課長
小幡 徹

【参加対象者】

どなたでもご参加いただけます。

【募集人数】

会場参加：20名、オンライン：60名（いずれも先着順 定員になり次第、受付を終了します。）

※参加申込方法等の詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

【ウェブサイトアドレス】

「プレスリリース」農林水産省ウェブサイト

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/251020.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 消費・安全部消費生活課

ダイヤルイン：075-414-9771

食品を購入する
際、どんな表示
を注視していま
すか？

今回は、近畿農
政局で行う食品
の表示に関する
監視業務につい
てご紹介します。



～最近の各種統計情報の公表について～

【年計調査】

- 10月28日 作物統計調査 令和7年耕地面積（7月15日現在）
- 10月28日 特定作物統計調査 令和7年産「い」の作付面積、収穫量及び置表生産量（熊本県）
- 10月22日 令和6年 生産者の米穀在庫等調査結果（令和7年6月30日現在の在庫量）
- 10月14日 作物統計調査 令和7年茶栽培面積（7月15日現在）
- 10月10日 作物統計調査 令和7年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量
- 9月30日 令和6年漁業経営統計調査結果
- 9月26日 令和6年度野生鳥獣資源利用実態調査結果
- 9月25日 令和7年度容器包装利用・製造等実態調査結果
- 9月19日 令和6年木質バイオマスエネルギー利用動向調査結果
- 9月9日 令和6年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率

【ウェブサイトアドレス】

「統計情報」農林水産省ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>



お問合せ先：近畿農政局京都府拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町 TEL:075-414-9015

ホームページ：<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>

